

# 平成29年度 社会福祉法人瀬戸市社会福祉協議会事業報告

瀬戸市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、平成29年度社会福祉法人瀬戸市社会福祉協議会事業計画に基づき、事業を展開した。

## <重点事業の実施概要>

### 1 地域福祉活動計画の策定

平成30年度を初年度とする9か年の地域福祉活動計画を市の地域福祉計画と一体的に策定した。策定にあたり、地域で住み続けていく上での困りごとや地域住民で実践できることについて意見をいただき、今後の地域福祉活動の推進に向けた指針となった。

### 2 災害時のボランティア体制の整備

災害時に備えて、災害ボランティアコーディネーター養成講座や災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を開催し、関係団体との連携強化や災害時のボランティア活動の啓発を図った。

また、災害ボランティアセンター開設整備支援備品の寄贈を受け、災害時の運営に向けた整備を図った。

### 3 課題対応型事業のモデル実施

地区社協役員研修会において、先進的に取り組む他市町の事例を通して、課題に対応した事業実施への働きかけを行った。

また、職員による地域担当制を導入し、各地域での地域懇談会開催を通して出てきた地域課題に対して自主的な取り組みを促した。

### 4 住民主体の支えあいのまちづくりの推進

地域で開催されるサロン等の活動の場において、地域の要望に合わせた「ふくし出前講座」等を実施し、住民主体の支えあいのまちづくりに向けた啓発を図った。

### 5 利用者が望む生活の実現に向けた福祉サービスの提供

質の高いケアマネジメント業務やホームヘルプサービスの提供のため、医療機関や福祉関係事業所等との連携を強化した。

また、勉強会の実施や参加を積極的に行うことにより、利用者が望む生活の実現に向けた福祉サービスの提供を図った。

### 6 瀬戸市福祉保健センター（やすらぎ会館）の管理・経営の充実

瀬戸市福祉保健センターの管理者として指定を受けて、瀬戸市福祉保健センターの経営、身体障害者福祉センターの経営、老人福祉センターの経営、瀬戸市プレイルーム事業を実施し、利用者のニーズに合わせた管理・経営を行った。

また、利用者へのアンケートを実施し、サービスの向上を図った。

7 地域包括支援センターの機能拡充及び地域住民の自立支援体制の強化  
介護予防や福祉に関する質の高い相談支援対応を行うため、職員体制の強化や研修会等への積極的な参加により、地域包括支援センターの機能の拡充を図った。

また、介護予防の啓発及び福祉・健康への関心を高めるため、地域の住民及び団体を対象とした講座の開催や、住民主体のサロンを立ち上げる支援をし開設に結び付ける等、地域住民の自立支援体制の強化を図った。

#### <主な事業内容>

### 1 社会福祉推進活動

#### (1) 役員会等の開催

##### 主な議案

- ・ 経理規程の一部改正
- ・ 事業報告・決算
- ・ 評議員会の開催
- ・ 瀬戸市社会福祉大会の顕彰
- ・ 補正予算
- ・ 地域福祉活動計画の策定
- ・ 事業計画・予算
- ・ 定款施行細則の一部改正
- ・ 福祉奨学基金の設置及び管理に関する規程の一部改正
- ・ 福祉基金の設置及び管理に関する規程の一部改正
- ・ 職員の給与に関する規程の一部改正
- ・ 職員の退職手当に関する規程の一部改正

#### (2) 地区社協

##### ア 地区社協会長連絡会及び企画委員会の開催

##### 主な議案

- ・ 会員募集
- ・ 敬老事業
- ・ 地域懇談会
- ・ 歳末たすけあい募金配分金
- ・ 地区社協役員研修会
- ・ 次年度配分金

##### イ 地区社協役員研修会

と き 平成29年11月26日(日)

と ころ やすらぎ会館 5階 大集会室

内 容 「地域懇談会から考える事業展開について」  
～地域福祉活動計画策定に向けて～

報告者 社会福祉協議会職員

##### ウ 地区社協活動の推進

全地域推進事業(いきいきサロン、子育てサロン)及び各地区の実情に応じた事業や地区社協を単位とした研修会を実施した。

(P 9 別表1)

(3) 各種委員会の開催

ア ボランティアセンター運営委員会

主な議案

- ・事業報告
- ・瀬戸市福祉教育推進校、福祉実践教室説明及び体験会、児童・生徒の福祉実践教室
- ・各種講座の開催
- ・評価チェックリスト
- ・事業計画
- ・地域福祉ボランティア活動助成金の交付

イ やすらぎ連絡会

主な議案

- ・事業報告
- ・事業計画
- ・部会及び事業内容（福祉夏まつり、福祉クリスマス会、福祉お楽しみ交流会）の実施

(4) 啓発宣伝活動

ア 関係機関、団体と連携を図るとともに、市内報道機関に記事を提供し、福祉活動の広報に努めた。

イ 社会福祉大会

と き	平成29年10月28日（土）
と ころ	やすらぎ会館 5階 大集会室
市長感謝	4団体 10人
社協会長表彰	1団体 21人
社協会長感謝	1団体 18人
赤い羽根作品	14人

ウ 福祉のつどい

子どもから大人まで楽しみながら福祉に関する理解と関心を深めるため、健康福祉フェアの中で実施した。

と き	平成29年11月3日（金・祝）
と ころ	瀬戸市文化センター
参加者	約12,900人

エ 本会が行う福祉事業の周知及び福祉に関する理解をより深めるため、広報紙「社協だより」を年4回（4、7、10、1月）発行した。

オ きめ細かな情報の発信のため、ホームページの更新を行った。

カ ふくしの出前講座の実施

町内会や地区社協、老人クラブ等各種団体の会合に出向き、福祉に関する様々な情報や知識について周知を図った。

講座件数 16件

キ やすらぎ木曜市の開催

障がい者就労施設等の利用者の就労体験や労働意欲向上及び会館利用者との交流を目的として、毎週木曜日に各施設の製品等をやすらぎ会館1階ロビーで販売する「やすらぎ木曜日」を開催した。

また、福祉夏まつりや福祉クリスマス会の開催にあわせ販売の機会を設ける等、障がい者の就労への理解を図った。

（参加施設 延べ327施設）

## ク 子ども食堂のモデル的实施【新規】

子どもの孤食を防ぎ、学習支援をすることで、安心して子どもが過ごせる居場所づくりを目的とした子ども食堂を実施した。内容は昼食づくり、食事の提供、運動遊び、学習支援を行った。

1回目	平成29年12月26日(火)、27日(水)、28日(木)
	(参加者：子ども 9人 協力者 39人)
2回目	平成30年3月27日(火)、28日(水)、29日(木)
	(参加者：子ども 11人 協力者 25人)

### (5) 各種団体との連携強化

自治会及び民生委員児童委員協議会との連携や各種団体活動への支援

## 2 福祉総合相談事業

福祉の総合相談窓口、よろず相談窓口として市内各所より高齢者や障がい者及びその家族から相談があり、情報提供や各種サービスの連絡調整・関係機関への紹介を実施した。

また、介護支援専門員等の福祉従事者や医療機関といった専門機関からの相談の他にも、民生委員等地域の方からの相談が多くあり、専門機関につなぐ等の連携を図り対応を行った。

相談内容については高齢者に関する相談が多く、中でも認知症に関する相談が増加している。また、一世帯で複数の課題を抱えている相談も増加している。

相談件数	高齢者	13,860件
	障がい者	674件
	認知症に関する相談	303件
	権利擁護に関する相談	699件

## 3 ボランティアセンター事業

### (1) ボランティアセンター機能の充実及び推進

ボランティアに関する相談・活動等に対応するため、ボランティア相談の実施、ボランティア登録の増強等、ボランティアセンターの運営強化に努めた。

また、高校生や一般市民を対象とした各種ボランティア講座、登録ボランティアの紹介及びボランティア活動の啓発、情報の提供を広報紙・ホームページ・フェイスブックで実施した。

(P10 別表2)

### (2) ボランティア活動への支援

瀬戸市ボランティア連絡協議会をはじめ19団体の登録ボランティアを対象に、地域福祉ボランティア活動助成金を交付し、活動の支援を行った。

(P11 別表3)

## 4 心配ごと・法律相談所の運営

心配ごと相談は、毎週木曜日の午後1時から面接相談を実施した。

法律相談は、毎月第1・3木曜日の午後1時から、第2・4木曜日の午前9時から弁護士による面接相談を実施した。

(P11 別表4)

## 5 援護活動事業

### (1) 歳末たすけあい援護事業の実施

歳末たすけあい募金配分金関係

ア 介護保険要介護4・5の方、身体障害者手帳1・2級の方、療育手帳A判定の方、精神保健福祉手帳1・2級の方及び母子父子家庭等の18歳未満の子を対象に、介護用品券・福祉タクシー券・図書カード・シルバー人材センターサービス提供券を支給した。

支給件数 1, 499件

支給金額 2, 998, 000円

イ 各地区社協において、介護用品の支給、ふれあい会食、おせち料理の配食、クリスマス会、慰問等の地域福祉事業を実施した。

ウ 障がい者施設及び瀬戸市母子福祉会への助成を実施した。

障がい者施設 23施設 助成金額 245, 000円

瀬戸市母子福祉会 助成金額 75, 000円

### (2) 法外援護

小口資金貸付

8件 123, 000円

## 6 各種福祉活動

(1) 児童青少年福祉活動

(2) 母子・父子福祉活動

(3) 老人福祉活動

(4) 障がい者福祉活動

(P11 別表5)

## 7 福祉奨学金の支給

低所得世帯の生徒が高等学校及びこれに準ずる専門学校へ通学する場合に必要な学資の一部として奨学金を支給した。

奨学生 24人

奨学金 240, 000円 (年額10, 000円/1人)

## 8 おもちゃ図書館「クレヨン」の運営及び活動

障がいのある子ども達や小学生以下の子ども達が、おもちゃを通して親子で楽しく遊びながら成長できるように支援した。

また、おもちゃの良さを幅広く知ってもらう機会として、高齢者施設への「移動おもちゃ図書館」を実施した。

運営主体であるボランティアの資質向上のため、研修会等への参加の機会を設けた。

おもちゃ図書館「クレヨン」 利用者数 1, 400人 日数 92日

(おもちゃ貸出数 180個 障がい児関係者及び子育て関係団体)

移動おもちゃ図書館 施設件数 6件 利用者数 213人

## 9 受託運営事業

### (1) 訪問調査事業

瀬戸市から委託を受けて、要介護認定調査対象者に対して介護支援専門員が訪問調査等を行った。

(P12 別表6)

(2) 瀬戸市福祉保健センター（やすらぎ会館）の管理・経営

ア 福祉保健センターの施設管理

指定管理者制度により、福祉保健センター（やすらぎ会館）の指定を受けて、管理・経営を実施し、サービス向上に努めた。

（P 1 2 別表 7）

イ 身体障害者福祉センターの運営

障がい者に対し、社会参加のために必要な教養講座等を行うとともに、相談に対し助言・指導を行う等、各種サービスの提供を行った。また、福祉夏まつり（参加者数 1, 6 9 9 人）及びお楽しみ交流会（参加者数 6 8 4 人）を開催した。

（P 1 3 別表 8）

ウ 老人福祉センターの運営

6 0 歳以上の高齢者を対象に、教養講座・機能回復訓練等ニーズに合わせたサービスの提供に努めた。また、センター利用者に対して毎週月・火・木曜日に、老人クラブに対して水・金曜日に送迎バスを運行し、利用の便宜を図った。

（P 1 3 別表 8）

エ プレイルームの運営

月曜日から金曜日までを「育児サロン」として位置づけ、親子を見守り、友達づくりの援助や育児相談に応じた。

また、年間を通じて、子育て中の保護者が交流しながら学びあう講座を企画し、子育て支援に努めた。

小学生に対しては、個性や感性を伸ばし健全な育成を目的とした教室等を実施した。

（P 1 4 別表 9）

(3) 地域包括支援センター事業の実施

ア やすらぎ地域包括支援センターの運営

瀬戸市が設置する地域包括支援センターの 1 つとして、陶原・長根地区に住む高齢者を対象に、自宅訪問や介護予防教室等を行った。

（P 1 4 別表 1 0）

イ 瀬戸市基幹型地域包括支援センターの運営

市内 7 か所の地域包括支援センターの全体調整や支援、緊急・困難ケースへの対応、地域包括支援センター及び介護支援専門員の資質向上研修、認知症カフェの開催、医師会等の医療関係機関との連携、介護予防・日常生活支援総合事業に関する情報収集等を実施した。

（P 1 4 別表 1 0）

(4) 日常生活自立支援事業の実施

愛知県社協からの事業を受託し、相談・援助業務を行った。

新規契約数 2 件

年度末契約数 2 0 件

（P 1 5 別表 1 1）

- (5) 生活支援コーディネーター配置業務の実施  
地域におけるボランティア等の生活支援サービスに関連する資源の把握やネットワーク構築に向けて各種研修会・会議への参加を行い、生活支援・介護予防サービスの整備に向けた情報の把握に努めた。  
(P15 別表12)

- (6) 各種福祉関係団体の受託  
6団体(瀬戸市遺族連合会、瀬戸市更生保護女性会、瀬戸市民生委員児童委員協議会、瀬戸市子ども会連絡協議会、瀬戸市母子福祉会、瀬戸市老人クラブ連合会)の事務局等の運營業務を行った。

- (7) 元気高齢者サポーター養成講座業務の実施【新規】  
高齢者の困りごとに対する支援や介護予防に取り組む担い手を養成するため、市内在住の65歳以上の方を対象に、介護保険制度の概要や生活援助に必要な知識・技術等を内容とする講座を開催した。(年2回開催)  
1回目 平成30年2月27日(火) (受講者:21人)  
2回目 平成30年3月10日(土) (受講者:13人)

## 10 介護保険事業

- (1) 訪問介護(ホームヘルパー派遣)事業  
要介護認定者にホームヘルパーを派遣し、身体介護・生活援助及びその他必要なサービスを行った。  
(P15・16 別表13)

- (2) 介護予防訪問介護、第1号訪問事業介護予防訪問サービス(ホームヘルパー派遣)事業  
要支援認定者及び事業対象者にホームヘルパーを派遣し、生活援助及びその他必要なサービスを行った。  
(P15・16 別表13)

- (3) 居宅介護支援(ケアプラン作成)事業  
せと地域福祉サービスセンター(居宅介護支援事業所)を運営し、要介護認定者にケアプランを作成した。  
(P16 別表14)

- (4) 介護予防支援、第1号介護予防支援(地域包括支援センター)事業  
やすらぎ地域包括支援センターの事業として、陶原・長根地区の要支援認定者及び事業対象者に介護予防ケアプランを作成した。  
(P16 別表15)

## 11 障害者総合支援事業

- (1) 障害福祉サービス居宅介護(ホームヘルパー派遣)事業  
ホームヘルパーを派遣し、身体介護・家事援助及びその他必要なサービスを行った。  
(P15・16 別表13)

(2) 地域生活支援（地域活動支援センター）事業

創作的活動、機能回復訓練、レクリエーション及び送迎等のサービスを行った。また、多くのボランティアの協力を得ながら、一人ひとりの適性に合わせた活動支援を行った。

(P 16 別表16)

12 その他

(1) 瀬戸市共同募金委員会への支援

(2) 日赤瀬戸市地区への支援



## 法人単位資金収支計算書

(自)平成29年04月01日 (至)平成30年03月31日

法人：社会福祉法人 瀬戸市社会福祉協議会  
事業：法人全体1 / 1  
(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考	
事業活動による収入	会費収入	11,804,000	11,638,000	166,000		
	寄附金収入	2,150,000	4,699,486	△2,549,486		
	経常経費補助金収入	45,889,000	45,994,707	△105,707		
	受託金収入	197,552,000	190,974,758	6,577,242		
	貸付事業収入	400,000	143,000	257,000		
	事業収入	130,000	224,417	△94,417		
	介護保険事業収入	46,117,000	48,040,456	△1,923,456		
	障害福祉サービス等事業収入	9,797,000	10,474,761	△677,761		
	受取利息配当金収入	1,431,000	1,593,962	△162,962		
	その他の収入	158,000	164,685	△6,685		
	事業活動収入計(1)		315,428,000	313,948,232	1,479,768	
	事業活動による支出	人件費支出	204,993,200	196,385,517	8,607,683	
		事業費支出	76,699,100	74,393,879	2,305,221	
事務費支出		13,796,700	12,079,786	1,716,914		
貸付事業支出		400,000	123,000	277,000		
助成金支出		23,926,000	23,728,666	197,334		
負担金支出		1,884,000	1,883,320	680		
事業活動支出計(2)		321,699,000	308,594,168	13,104,832		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△6,271,000	5,354,064	△11,625,064		
施設整備等による収入	施設整備等収入計(4)		0	0	0	
	施設整備等による支出	固定資産取得支出	810,000	810,000	0	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	1,266,000	1,265,220	780	
		施設整備等支出計(5)		2,076,000	2,075,220	780
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△2,076,000	△2,075,220	△780	
その他の活動による収入	積立資産取崩収入	0	539,054	△539,054		
	その他の活動収入計(7)		0	539,054	△539,054	
	その他の活動による支出	積立資産支出	7,834,000	7,828,803	5,197	
		その他の活動支出計(8)		7,834,000	7,828,803	5,197
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△7,834,000	△7,289,749	△544,251		
予備費支出(10)		500,000	-	500,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△16,681,000	△4,010,905	△12,670,095		
前期末支払資金残高(12)		14,688,000	30,592,277	△15,904,277		
当期末支払資金残高(11)+(12)		△1,993,000	26,581,372	△28,574,372		

法人単位事業活動計算書

(自)平成29年04月01日 (至)平成30年03月31日

法人：社会福祉法人 瀬戸市社会福祉協議会  
事業：法人全体

1 / 2  
(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	会費収益	11,638,000	11,895,000	△257,000
	寄附金収益	4,699,486	1,839,185	2,860,301
	経常経費補助金収益	45,994,707	44,422,147	1,572,560
	受託金収益	190,974,758	183,393,068	7,581,690
	事業収益	224,417	272,150	△47,733
	介護保険事業収益	48,040,456	52,751,681	△4,711,225
	障害福祉サービス等事業収益	10,474,761	10,534,348	△59,587
	サービス活動収益計(1)	312,046,585	305,107,579	6,939,006
	費用			
人件費	200,907,132	258,391,069	△57,483,937	
事業費	74,393,879	73,075,259	1,318,620	
事務費	12,079,786	8,323,252	3,756,534	
助成金費用	23,728,666	23,819,370	△90,704	
負担金費用	1,883,320	2,174,514	△291,194	
減価償却費	2,356,555	2,230,927	125,628	
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	△168,643	168,643	
サービス活動費用計(2)	315,349,338	367,845,748	△52,496,410	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△3,302,753	△62,738,169	59,435,416	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	1,593,962	1,596,763	△2,801
	その他のサービス活動外収益	164,685	163,045	1,640
サービス活動外収益計(4)	1,758,647	1,759,808	△1,161	
費用				
サービス活動外費用計(5)	0	0	0	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,758,647	1,759,808	△1,161	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△1,544,106	△60,978,361	59,434,255	
特別増減の部	収益			
	固定資産受贈額	0	939,408	△939,408
	その他の特別収益	0	7,240,506	△7,240,506
特別収益計(8)	0	8,179,914	△8,179,914	
費用				
特別費用計(9)	0	0	0	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	8,179,914	△8,179,914	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△1,544,106	△52,798,447	51,254,341	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	23,651,414	60,854,649	△37,203,235
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	22,107,308	8,056,202	14,051,106
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	基金取崩額(15)	0	8,142,000	△8,142,000
	その他の積立金取崩額(16)	0	13,768,101	△13,768,101
その他の積立金積立額(17)	3,154,803	6,314,889	△3,160,086	

## 法人単位事業活動計算書

(自)平成29年04月01日 (至)平成30年03月31日

法人：社会福祉法人 瀬戸市社会福祉協議会  
事業：法人全体2 / 2  
(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	18,952,505	23,651,414	△4,698,909

法人単位貸借対照表  
平成30年03月31日現在

法人：社会福祉法人 瀬戸市社会福祉協議会  
事業：法人全体

1 / 1  
(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	50,729,845	58,787,677	△8,057,832	流動負債	35,273,295	38,933,553	△3,660,258
現金預金	37,698,861	44,115,619	△6,416,758	事業未払金	4,187,227	7,797,205	△3,609,978
未収金	10,074,501	12,037,993	△1,963,492	1年以内返済予定リース債務	1,265,220	1,265,220	0
立替金	0	0	0	未払費用	19,878,196	20,398,195	△519,999
前払金	2,475,362	2,166,432	308,930	預り金	0	0	0
前払費用	481,121	467,633	13,488	職員預り金	83,050	0	83,050
				賞与引当金	9,859,602	9,472,933	386,669
固定資産	437,323,770	431,600,576	5,723,194	固定負債	78,053,012	75,183,286	2,869,726
基本財産	1,500,000	1,500,000	0	リース債務	2,530,440	3,795,660	△1,265,220
定期預金	1,500,000	1,500,000	0	貸付事業資金借入金	1,331,500	1,331,500	0
その他の固定資産	435,823,770	430,100,576	5,723,194	退職給付引当金	74,191,072	70,056,126	4,134,946
機械及び装置	5	68,214	△68,209	負債の部合計	113,326,307	114,116,839	△790,532
車両運搬具	1,180,394	2,106,675	△926,281	純資産の部			
器具及び備品	921,151	207,996	713,155	基本金	1,500,000	1,500,000	0
有形リース資産	4,111,965	5,377,185	△1,265,220	基金	351,120,000	351,120,000	0
投資有価証券	296,337,688	296,337,688	0	福祉基金	205,204,435	205,204,435	0
長期貸付金	937,840	957,840	△20,000	高齢者対策基金	6,000,000	6,000,000	0
退職給付引当資産	14,584,350	12,910,350	1,674,000	福祉奨学金基金	37,215,565	37,215,565	0
福祉基金積立資産	23,415,312	23,415,312	0	さんあい福祉基金	102,700,000	102,700,000	0
高齢者対策基金積立資産	6,000,000	6,000,000	0	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
福祉奨学金基金積立資産	23,150,000	23,150,000	0	その他の積立金	3,154,803	0	3,154,803
さんあい福祉基金積立資産	2,417,000	2,417,000	0	運用資金積立金	3,154,803	0	3,154,803
運用資金積立資産	3,154,803	0	3,154,803	次期繰越活動増減差額	18,952,505	23,651,414	△4,698,909
退職給付積立資産	59,606,722	57,145,776	2,460,946	(うち当期活動増減差額)	△1,544,106	△52,798,447	51,254,341
長期前払費用	6,540	6,540	0	純資産の部合計	374,727,308	376,271,414	△1,544,106
資産の部合計	488,053,615	490,388,253	△2,334,638	負債及び純資産の部合計	488,053,615	490,388,253	△2,334,638